



目標達成時の子供の姿：自ら学ぼうとしている、自ら関わろうとしている、自分の役割を果たそうとしている

〈学校教育目標〉 「ゆたかな心、たしかな力」の育成

ゆたかな心

- 興味・関心をもつ
- 感じたり、表現したりする
- 目的、見通しをもつ
- 向上心をもつ
- 穏やかに過ごす
- 感謝する気持ちをもつ



たしかな力

- 生活力（楽しむ・暮らす・働く力）
- コミュニケーション力（意思を伝え合う力）
- 健康、体力（健康で元気に過ごす力）

(子供) 八代支援で学んでよかった
 (保護者) 八代支援で学ばせてよかった
 (教職員) 八代支援で教えてよかった

→ 子供、保護者から選ばれる学校

一人一人の発達段階を踏まえた「たしかな」力を育む授業づくり

重点事項

特別支援学校のセンター的機能を発揮させ地域支援の充実を図る

求められる教師像

- 子供・保護者から信頼され、不祥事を起こさない強い信念をもつ教師
- 向上心を持ち学び続ける教師
- 互いを尊重し協働する教師

シンプルで「しん」のある教育〈芯、心、信、新〉

〈育成を目指す資質・能力〉 ①生活する力 ②働く力 ③人と関わる力

〈経営の基本〉 ○自他の命や人権を大切にせる教育
 ○子供の事実から学び、子供の可能性を伸ばす教育

〈判断基準〉【子供】いのち、思い、可能性 【教職員】学び合い、支え合い 【保護者】信頼、期待

目標達成に迫る取組 ～「見える化」「分かる化」「できる化」「スケジュール化」の手立て～

現場実習等の働くことや役割を果たす活動を通して、達成感や有用感を味わう機会の設定

学習上・生活上の困難の改善につながる自立活動の授業実践

個別の教育ニーズに即した指導と効果的なグループ指導の組み合わせ

学ぶ楽しさを感じ、できるようになったことを実感できる授業づくり

ホームページ等、積極的な情報発信と八代地域のニーズに応える研修・相談支援

対話や子供の気付き、疑問を大切にし、子供が学びの主体者となる授業づくり

居住地校や近隣校、関係機関等と、互いのねらいを明確にした交流および共同学習

〈学習・生活の基盤〉 自立活動 ～児童生徒の中心的な課題に迫る指導～

小学部

一貫性

高等部

連携・学びの連続性

中学部

連携・学びの連続性

○看護師、養護教諭、担任がチームとして連携した安全・安心な医療的ケアの実施

○ヒヤリハットの情報共有、緊急時や災害時に対応した訓練等の実施と改善・充実

①子供が安全・安心に過ごせる教育環境

②子供の心理的な安定